

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 14 日 作成

| | | | | | | | | | | |
|---|------|--|---------------------|----|-----|--|---|------|--------------|----|
| 事務事業名 | | 関東合志会運営支援事業 | | | | <input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 | | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | | | 所属部 | 総務企画部 | 課長名 | 建岡 純雄 | |
| | 施策 | 14 | 市民参画によるまちづくりの推進 | | | 所属課 | 市長公室 | 担当者名 | 後藤 圭子 | |
| | 基本事業 | 42 | 地域づくり(まちづくり)活動機会の確保 | | | 所属班 | 秘書人事班 | (内線) | 1222 | |
| 予算科目 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業連番 | <input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始 | | 成果優先度評価結果 | 11 |
| | | 1 | 2 | 1 | 1 | 10338 | | | コスト削減優先度評価結果 | 6 |
| 事業期間 | | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 | | 18 | 年度) | <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (| | ~ | 年度) | |
| 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) | | | | | | | | | | |
| 【事業の内容】 合志市出身及び合志市にゆかりのある関東在住の人々が相集い、ふるさと合志市の発展と会員相互の親睦を深めるため、年1回総会及び懇親会が開催されている。また、年2~3回程度の役員会が開催されている。その運営に対する支援を行う。 | | | | | | | | | | |
| 【業務の流れ】 会の運営に対する補助金の交付。また、市長、議長、担当職員等が関東合志会会員が集う年1回(8月)の総会及び懇親会へ参加をし、合志市の近況報告、ふるさと納税のお願い、物産品の紹介などを行い、会員との情報交換を行う。また、希望者へは市の広報紙を毎月、送付している(郵送料は自己負担) | | | | | | | | | | |
| 【主な予算費目】 【款】2総務費 【項】1総務管理費 【目】1一般管理費 【節】9旅費 10交際費 19補助金 | | | | | | | | | | |
| 1 現状把握の部(DO、PLAN) | | | | | | | | | | |

(1) 事務事業の目的と指標

| | |
|---|--|
| ① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 毎年開催されている関東合志会総会に市から、市長、議長ほか担当者を含め4名が参加。総会の席において、市の近況報告やふるさと納税の協力依頼などを行い、会員との情報交換を行った。会の運営補助金として324,000円を補助。また、熊本県人会のホームページや合志市のホームページ並びに広報紙へ総会の案内などの情報を載せ、活動の啓発協力を行っている。 | 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 昨年同様、総会へ参加をし会員との交流や市発展のための協力依頼を行う。市からは4名の参加を予定している。補助金額は324,000円。 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 関東合志会会員 | ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 総会など開催回数 → イ 回 |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市長と直接会い、市の情報を定期的に得ることにより、遠く離れた故郷への想いをもち続けることができる。また会員相互の連帯感も生まれる。 | ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 関東合志会会員数 → イ 人 |
| ④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) まちづくりに参加できる場や機会を確保できる | ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 総会等の会合への参加割合 → イ % |
| | ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 自主的にまちづくり活動に参画している人数 → イ 人 |

(2) 総事業費・指標等の推移

| | | 単位 | 18年度 実績(決算) | 19年度 実績(決算) | 20年度 目標(当初予算) | 20年度 実績(決算) | 21年度 目標(当初予算) | 22年度 (目標) | 23年度 (予定) | 全体計画 ~ 年度 |
|-----|----------------|----------|----------------|----------------|------------------|----------------|------------------|--------------|--------------|---|
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | 総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0 |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | | | | | | | |
| | | 繰入金 | 千円 | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 千円 | 799 | 589 | 498 | 488 | 440 | 440 | |
| | (A) 事業費計 | 千円 | 799 | 589 | 498 | 488 | 440 | 440 | 440 | |
| | うち指定経費 | 千円 | | | | | | | | |
| | うち時間外、特殊勤務手当 | 千円 | | | | | | | | |
| | 人件費 | 正規職員従事人数 | 人 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | 延べ業務時間 | 時間 | 56 | 52 | 28 | 49 | 49 | 49 | | |
| | (B)人件費計 | 千円 | 222 | 207 | 111 | 195 | 195 | 195 | | |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 1,021 | 796 | 609 | 683 | 635 | 635 | 635 | |
| | 活動指標 | ア イ | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 対象指標 | ア イ | 人 | 150 | 150 | 150 | 214 | 214 | 214 | |
| | 成果指標 | ア イ | % | 46 | 34 | 50 | 24 | 50 | 60 | |
| | 上位成果指標 | ア イ | 人 | | | | | | | |

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成3年に関東在住の西合志町出身者・合志町出身の方がふるさとを思う同郷の方が集まる場が欲しいとの要望からそれぞれの町で開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成18年合併して合志市となり関東合志会として新たに発足した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
合志市の状況を市長から直接詳細に聞くことができるため、ふるさとを思う気持ちが強まる。また、市側も情報を提供することにより特産物などのPR活動に繋がるいい機会にもなる。継続を望む声強い。

| | | | | | |
|-------|-------------|-----|-------|-----|------|
| 事務事業名 | 関東合志会運営支援事業 | 所属部 | 総務企画部 | 所属課 | 市長公室 |
|-------|-------------|-----|-------|-----|------|

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

| | | |
|-----------------|---|--|
| 目的 妥当性 評価 | ①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ふるさとを想う立場から市政(まちづくり)への貴重な意見を聴くことができる。 |
| | ②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 都心部への市のPRの機会が確保でき、ふるさと納税などの依頼や協力も得られやすい。継続して交流することにより、市出身の人材確保やつながりも強固なものになり、まちづくりへ反映できる。 |
| | ③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象・意図は妥当である。 |
| 有効性 評価 | ④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合志市出身者を把握し、会への支援を行うことにより会員の確保・拡充を図る。 |
| | ⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ふるさと合志市とのつながりがなくなる。 |
| | ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 |
| 効率性 評価 | ⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限度の補助金による支援であるため。 |
| | ⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人員の参加である。また、アウトソーシングはなじまない。 |
| 公平性 評価 | ⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 会員全員が対象である。また、総会参加費や広報送料は個人の自己負担であり公平・公正である。 |

3 評価結果の総括(SEE)

| | |
|--|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) |
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ② 関東方面への転出者の情報については、現在個人情報問題があり、把握ができない。したがって、関東在住の合志市出身者の確認ができないため会員の拡充がむずかしく、固定した会員になってしまう。 |

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----|----|-----|--|--|--|--|----|----|----|----|----|--|---|--|----|--|--|--|----|--|--|--|
| (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 関東県人会と協力し、会員や活動の拡充を図れるよう協力できないものか。 また、ホームページを利用したPRは幅広く周知できるのではないか。 | (2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | コスト | | | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | ○ | | 維持 | | | | 低下 | | | |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

活動の主体はあくまでも関東合志会会員であり、市は支援をする立場である。会員もそれぞれ仕事をしながら活動していることから、なかなかPRのための作業ができない状況のようである。連絡を取り合い、協力しながら、できるだけ支援に努めていきたい。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

| | | |
|------------|----|------------------------------------|
| (1) 目的の直結度 | 5 | (直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9) |
| (2) 貢献度 | 10 | (貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12) |